

道路改築事業費

事業評価個票（事業実施：平成30年度）				部局名	県土整備部			
短期アクションプラン	テーマ	テーマ7 地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成						
	施策	施策1 国内外との交流を拡大する広域交通ネットワークの整備促進						
	目的	災害時におけるリダンダンシー機能を確保するとともに、国内外からの活力を取り込む広域交通ネットワークの形成を図る。						
	目標指標(R2)	高速道路のIC30分圏域内県内人口率	95%					
	策定時の実績	71%	現状	88%(南陽高島～山形上山IC開通まで含む)	主要事業	多様で重層的な高速交通ネットワークの形成		
事業名	道路改築事業費		担当課・担当	道路整備課 道路整備・安全対策担当				
事業開始年度	-		事業終了(予定)年度	未設定				
事業の目的 (目指す姿を3行程度で簡潔に)	複数の高速交通施設アクセスや生活圏道路ネットワーク形成による地域の活性化・効率化を進めるため、国道や地方道の改築事業を行う。							
事業概要 (5行程度で簡潔に)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域高規格道路ICへのアクセス道路として、また、生活圏間・主要都市間ネットワークを構築する道路整備を行う。</li> <li>・東北中央自動車道の地域活性化IC及びアクセス道路、重点道の駅の整備を実施する。</li> <li>・老朽橋梁等の道路施設の架替・更新を行い、緊急輸送路の確保や生活幹線ネットワークの維持を行う。</li> <li>・生活圏間ネットワークや地域課題となっている狭隘道路の改善、視距改善等、地域に密着した道路整備を実施する。</li> </ul>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 上記実施方法とする理由：(直接実施)用地取得等事務、各種調整事務 (委託・請負)建設工事等請負契約による工事の施工及び測量・設計業務を実施するため							
予算額・決算額 (単位:千円)	費目(予算見積書のグループ名)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	地域連携道路補助金(改築)	1,300,000	2,250,553					
	社会資本交付金(改築)	1,613,297	1,375,000					
	社会資本交付金(改築)受託		25,000					
	防災・安全交付金(改築)	2,115,000	2,237,500					
	防災・安全交付金(改築)受託	70,000	35,000					
	社会資本交付金(広域連携)	1,085,500	24,500					
	地方道路等整備事業費(改築)	822,494	2,023,686					
	恒常的単独道路整備事業費(改築)	6,027						
	地方道路等整備事業費(移管道整備費)		16,422					
道路改築事業事務費等	383,537	312,522						
計	7,395,855	8,300,183	0	0	0			
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金	3,626,868	3,493,997					
	繰入金							
	その他特定財源	3,662,044	4,685,552					
	一般財源	106,943	120,634					
	計	7,395,855	8,300,183	0	0	0		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	格子状道路ネットワークを補完する道路やICアクセス道路の供用箇所(事業着手済み8箇所)(累計)	活動実績	箇所	2	3			
		当初見込み	箇所	2	3	4	4	4
成果指標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標 (所管部局の分析)		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	高速道路のIC30分圏域内県内人口率	成果実績	%	87	88			
		目標値	%	86	86	86	95	95
		達成度	%	101%	102%			
関連事業								

事業目標の考え方(事業目標設定時)

高規格幹線道路網の整備進捗に併せ、格子状道路ネットワークを補完する道路整備やICアクセス道路を整備することにより、高速道路利用県内人口の増加に寄与する。  
 ICアクセス道路の整備により、周辺地域から高速道路ICまでのアクセス時間短縮などが図られ、利便性の向上による観光や産業振興への寄与や災害時のリダンダンシー確保、救急搬送時間の短縮等、大きな整備効果が期待できる。  
 本事業の目標は、格子状道路ネットワークを補完する道路整備やICアクセス道路の整備状況を勘案して設定。

事業所管部局による評価・検証

	項目	評価	評価に関する説明
事業目標の妥当性・達成度	事業の目的は県民や社会のニーズを的確に反映しているか。	A	県内では、東北中央自動車道をはじめとする高速道路の整備が進められており、ICと市街地や幹線国道とをアクセスする道路整備を行うことにより、高速道路開通の効果を最大限に発揮し、観光及び産業振興などに寄与するものである。 これまで目標通りの箇所が供用しており、高速道路からのアクセス道路としての役割を果たしている。合わせて幅員狭小な現道における交通安全上の課題の解消にもつながっており、地域振興に大いに寄与しているものである。
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	A	
	目標水準は妥当か。	A	
	期待する成果が得られたか。	A	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	A	
事業内容の妥当性	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	A	ルートや工法の選定にあたっては、複数の案の中からコスト・工期・施工性などの観点に基づき総合的に優れているものを決定しているほか、適正な入札・契約手続きにより事業が実施されているところである。
	支出先の選定は妥当か。	A	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	A	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	A	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	A	
類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。	A		
の役割分担	市町村、民間等に委ねることができない事業なのか。	A	道路整備事業は、原則として県管理道路は県が、市町村道路は市町村道路が行うこととなり、役割分担がなされているところである。
今改善の課題・			

- ・事業所管部局による評価にあたっては、以下の4つの選択肢から、1つを選ぶこと。
- A: 目標を上回って達成する見込み。期待通りの成果(100%以上)。妥当。
- B: 目標を概ね達成する見込み。概ね期待通りの成果(80~99%)。概ね妥当。
- C: 改善の余地あり。期待した成果を下回っている(79%以下)。
- ー: 該当しない